

印刷に関する用語、こぼれ話、業界のトレンドなどの情報を毎月ご紹介していきます。

M O N T H L Y

vol.148

U P



切り離す時には
欠かせません



入場券やチケット、クーポンなど 切り離す時に便利なミシン加工。



映画館や美術館の入場券、折り込みチラシについた申し込み用ハガキ、飲食店の割引クーポン、各種伝票など、私たちの身の周りにはミシン加工された印刷物がたくさんあります。もしミシン加工がなければ、わざわざはさみで切らないといけません。面倒だからと手でちぎると、うまく切れずに破れてしまう可能性もあり、相当不便を感じることでしょう。今回は、この便利なミシン加工について取り上げます。

ミシン加工には大きく分けて2つあります。用紙の端から端まで用紙の辺と平行にまっすぐに入っているミシン目をスリッターミシン、ミシン目が紙の端から入って途中で終わっている状態のミシン目をジャンプミシンといいます。

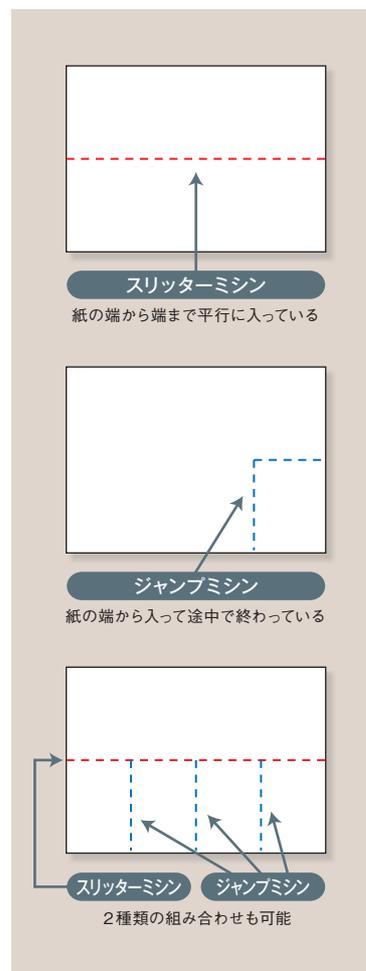
スリッターミシンを入れる場合、やり方はいろいろありますが、一般的なのはスリッターミシン機を使用することです。回転する圧胴に円盤状のミシン刃を圧接させ、その間に一枚ずつ用紙を通してミシン目を入れます。ミシン刃を取り

換えることでミシン穴のピッチや大きさを変更でき、非常に目の細かいマイクロミシン加工も可能。複数のミシン刃をセットして並行にミシン目を入れることもできます。

一方、ジャンプミシンを入れる場合には、専用の型を作って型抜き加工をすることになります。単純なジャンプミシンだけでなく四角形や三角形のミシン入れの他、スリッターミシンではできない斜めのミシン、ジャンプミシンとスリッターミシンの組み合わせも可能です。ただしスリッターミシン機と比較すると型を作る分、割高になるので注意が必要です。

その他、折り出す前にミシンを入れることができる製本折り機や、インラインで切り取りハガキなどのミシンを入れるパーフォレーターを装備した輪転印刷機もあります。ちなみに最近フィルム袋でよく見かけるマジックカットもミシン目加工を参考にして生み出された技術。特殊な形状の微細な突起を加工用の回転刃につけてフィルムに押し付けて傷をつけることで作成します。

クーポンやアンケートハガキなど、ミシン目のあるなしで回収率が大きく異なります。販促効果をより高めるにはミシン目は重要な要素のひとつです。どんなミシン目が良いか、こんなミシン目はできないかなど、弊社営業までお気軽にご相談ください。





No.I290-ISO/IEC 27001
No.E2204-ISO14001 (本社・下丸子工場)
No.4412-ISO9001 (本社・下丸子工場)



SEZAX

セザックス株式会社

<http://www.sezax.co.jp>

<input type="checkbox"/> 本社・工場	〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7	☎03(3758)2511(代)
<input type="checkbox"/> 渋谷コア	〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル6F	☎03(3400)9211(代)
		5F ☎03(3400)9401(代)
<input type="checkbox"/> 関西コア	〒530-0047 大阪市北区西天満5-8-8 VEGA VI高橋ビル別館803	☎06(6131)0410(代)
<input type="checkbox"/> 下丸子工場	〒146-0092 大田区下丸子2-20-4	☎03(3758)2516(代)

株式会社セザックスクリエイティヴ

〒150-0002 渋谷区渋谷3-19-1渋谷オミビル2F ☎03(3409)4970(代)

株式会社セザックスドキュメントソリューションズ

〒146-0091 大田区鵜の木2-9-7 ☎03(3758)2533(代)

この小冊子は森林認証紙を使用しています。